

(別記)

2019 年度階上町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の水田（不作付地を含む）における全体の約 30%しか水稲作付がなく、約 55%が調整水田および自己保全管理、残りの 15%が転作作物である。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。特に、米の需要量の減少に対応した他作物への品目転換が進まないことが不作付地増加の大きな原因であるため、需要のある作物への誘導による水田フル活用を緊急に推進していく必要がある。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積、分散錯圃の解消を推進していく。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用の米の需要減少の中今後売れる米づくりの徹底によって需要に応じた生産を行っていく。

- ア 気象変動への適切な対応による品質向上に向けて水管理や追肥等の栽培管理を改善し高品質な米づくりを推進する。
- イ 心白粒や被害粒の混入がない 1 等米の比率を向上させ、食味・品質が安定している米づくりを推進する。
- ウ 消費者ニーズに対応した多様な米として環境への配慮から、化学肥料や農薬使用を低減させた米づくりを推進する。
- エ 近年、農業労働力の減少・高齢化が進んでいること、さらに農地集積等が進んでいることから、稲作所得の向上を図るため、省力・低コスト生産技術を集落や組織ぐるみで行い、生産の効率化と労働力の軽減を図り、低コスト稲作を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転作作物の中心作物に位置づける。また、飼料用米の生産拡大にあたっては県設定及び地域設定の産地交付金を活用しながら、団地化の推進等により生産コストの低減を図るとともに、多収品種の導入による本作化と生産拡大を図る。あわせて生産された稲わらを家畜の飼料として利用する耕種農家と畜産農家との耕畜連携による取組を推進する。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

取組なし

エ WCS 用稲
取組なし

オ 加工用米
取組なし

カ 備蓄米
取組なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦
取組なし

イ 大豆

地域設定の産地交付金を活用し、生産の団地化、土地利用の集積、農業機械の導入や作業の共同化、基本技術の励行等により、生産性、品質の向上及び生産コストの低減を促進し、生産拡大を目指す。また、連作障害回避のため、地域設定の産地交付金を活用し、地力増進作物との輪作体系の確立を目指す。

ウ 飼料作物

地域設定の産地交付金を活用し、耕種農家と畜産農家との連携による水田を活用した飼料作物の生産を推進し、自給力・自給率の向上を目指す。

(4) そば、なたね

ア そば

地域の実需者との契約に基づき、国設定及び地域設定の産地交付金を活用し現行の栽培面積を維持する。

イ なたね

取組なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

高収益作物については、地域内で振興作物の生産・販売を推進するため、作付の維持・拡大を目指す。特に葉たばこについては、生産性向上等の取組を行う農業者に対し、地域設定の産地交付金を活用し生産拡大を目指す。

(6) 畑地化の推進

取組なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	78.2	70.0	68.0
飼料用米	5.3	4.3	5.0
米粉用米	0	0	0

新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	12.3	13.0	14.0
飼料作物	4.5	4.8	5.0
そば	3.0	3.1	3.2
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	0.9	1.1	1.1
葉たばこ	0.7	0.8	0.8
地力増進作物	0.2	0.3	0.3

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	大豆	大豆の低コスト化取組助成	低コスト化の取組面積 10aあたり大豆生産費	(2018年度) 8.6ha (2018年度) 13,224円/10a	(2020年度) 14.0ha (2020年度) 12,793円/10a
2	そば	そばの低コスト化取組助成	低コスト化取組面積 10aあたりそば生産費	(2018年度) 2.0ha (2018年度) 11,902 円/10a	(2020年度) 3.2ha (2020年度) 11,000円/10a
3	飼料作物	飼料作物の単収向上取組助成	単収向上取組面積 10aあたり飼料作物収穫量	(2018年度) 2.7ha (2018年度) 805kg/10a	(2020年度) 4.5ha (2020年度) 900kg/10a
4	大豆	団地化助成（担い手農業者等）	大豆団地化取組面積 10aあたり大豆収穫量	(2018年度) 4.9ha (2018年度) 139kg/10a	(2020年度) 7.3ha (2020年度) 145kg/10a
5	葉たばこ	振興作物助成	葉たばこ作付面積 10aあたり単収	(2018年度) 0.7ha (2018年度) 260kg/10a	(2020年度) 0.7ha (2020年度) 270kg/10a
6	地力増進作物 （えん麦、スタックス）	地力増進作物助成	地力増進作物面積	(2018年度) 0.2ha	(2020年度) 0.3ha
7	飼料用米 （多収品種）	稲わら利用助成（耕畜連携）	飼料用米わら利用取組面積	(2018年度) 0ha	(2020年度) 3.8ha